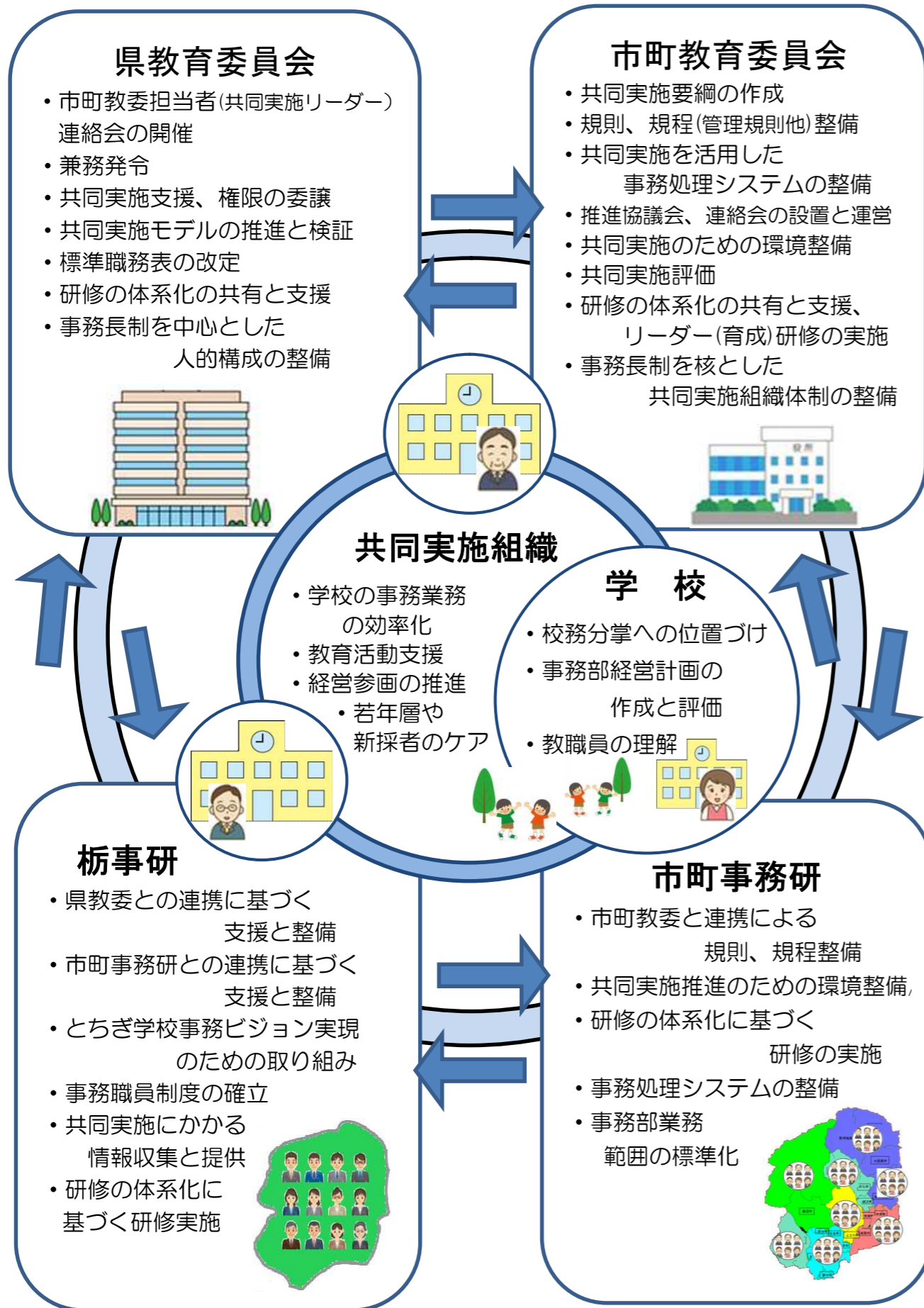


役割

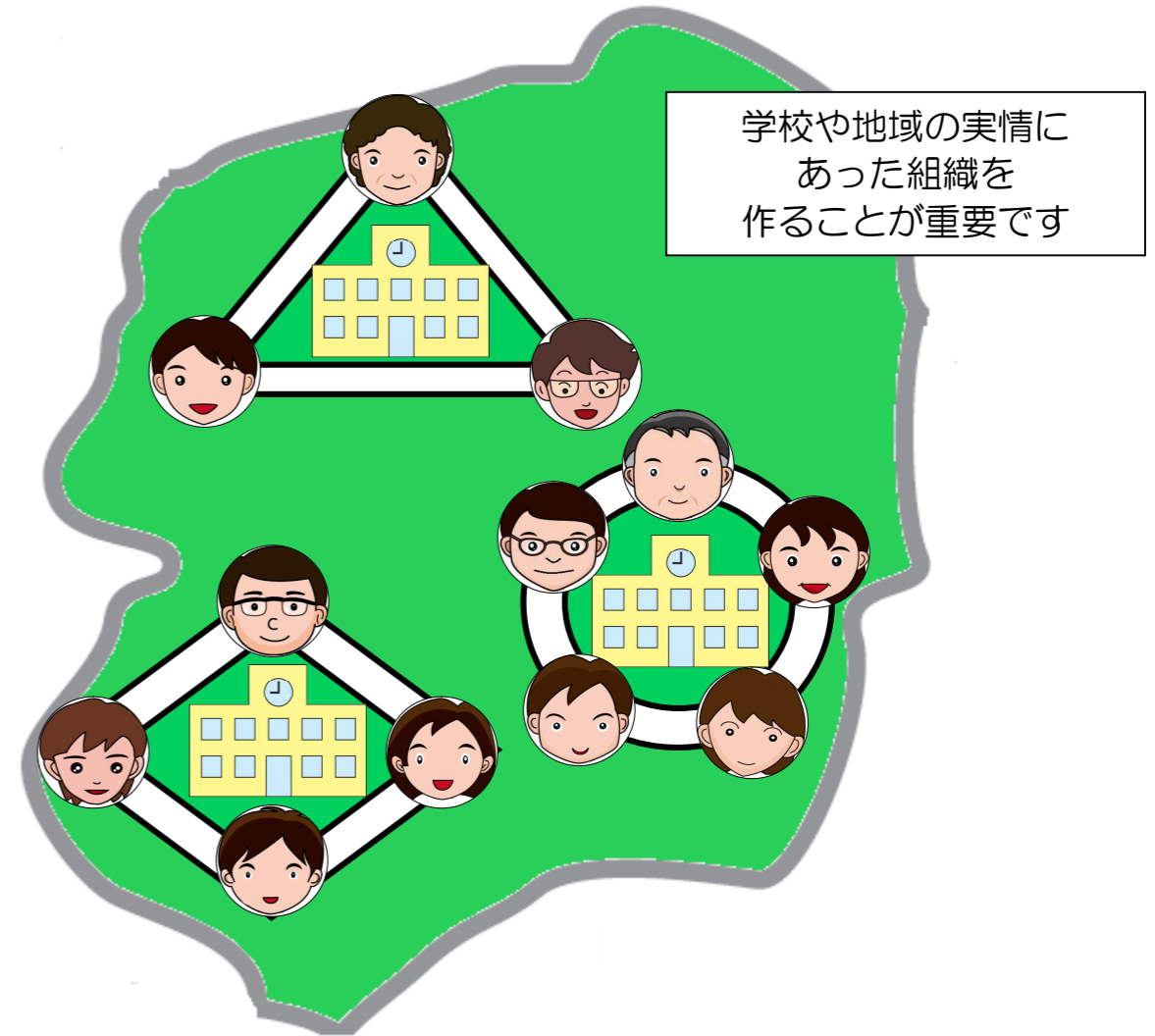


とちぎの共同実施

「栃木県公立小・中学校事務共同実施推進のモデル」の考え方を基本として、とちぎでは学校を基盤とし学校経営とつながった組織を目指しています。事務職員一人一人が学校の様々な課題を教員と共有し、認識・理解し、解決に向けた手立てを講じることができるようサポートできる組織です。

とちぎの目指す共同実施組織

学校を基盤とし、教育活動の推進をとおして、学校経営とつながった組織



平成26年5月30日
栃木県公立小中学校事務職員研究協議会

子どもたちが明るく元気に学び 活動する環境を実現するために

— 「共有」と「協働」でつなぐとちぎの共同実施 —



STEP 1

☆事務職員への効果☆

- 学校事務業務の深化
- 学校事務領域の拡がり
- 確実性、安定性を基盤とした学校事務の提供
- 実務能力の向上と能力開発

STEP 2

☆子どもへの効果☆

- 指導時間の確保
- 校内事務処理体制のシステム化による教育活動の基盤整備
- 学習環境や教育諸条件の整備充実
- 就学支援、教育活動支援等の教育効果の拡充

STEP 3

☆学校への効果☆

- 保護者、地域や教育行政との連携の推進
- 政策形成、企画立案能力に基づく学校事務運営
- 学校改善
- 安全安心な教育環境の保障
- 学校評価の充実

より質の高い学校事務を提供し、
学校経営に参画していきます！

教員の事務処理軽減を図り、
子どもと向き合う時間の確保に努めます！

事務処理の効率化と標準化を図ります！

共同実施を行うための
仕組み作りをします！

START

☆立ち上げるまでのプロセス☆

- 検討委員会設置
- 校長会、教頭会、市町教委など各団体への説明と協議
- 規則規程整備



☆共同実施の具体的な取り組み☆

- 共同実施経営計画の作成と評価

☆共同実施の具体的な取り組み☆

- リーダーを中心とした事務処理体制や事務職員への支援体制整備
- 教育活動の支援
- 若年層、新採者のケア
- 研修実践支援

☆共同実施の具体的な取り組み☆

- 教育環境整備にかかる知識、技能の習得
- 市町全体における名簿管理や会計システム等の構築
- 経営参画の推進

☆共同実施の具体的な取り組み☆

- マネジメント能力の向上
- 学校評価推進のための能力や課題解決プロセスの習得
- 保護者、地域の価値観の分析やニーズの収集
- 教育行政との事務の再配分
- 多方面にわたる情報収集、提供と活用

※ STEP は基本的には1から進めますが、課題に応じてSTEP2や3から取り組むこともできます。

